

広報

しょうぼう さつま

119

vol.4

平成 18 年 10 月発行

編集・発行

さつま町消防本部

薩摩郡さつま町時吉 366

Tel 0996-52-0119

Fax 0996-53-0119

Web <http://www.satsuma-net.jp/>

mail shobo@satsuma-net.jp



時吉分団選手名

指揮者	下田	保幸
1番員	高田	竜一
2番員	市園	庄一
3番員	馬立	健次
補欠	市園	誠

主な内容

- 1・2ページ…特集「秋の全国火災予防運動」
- 3ページ……県北部豪雨災害救助活動の記録
- 4ページ……きゅうきゅうのページ
救急救命士レベルUP
AED貸し出します etc.
- 5ページ……職場体験学習たたいま奮闘中
消防ほっと写真館

平成18年度全国統一防火標語

消さないで
あなたの心の
注意の火。

平成18年度全国統一防火標語

消さないで あなたの心の 注意の火。

秋の 全国火災予防運動始まる！

11月9日から15日まで

住宅用防災機器を設置しましょう

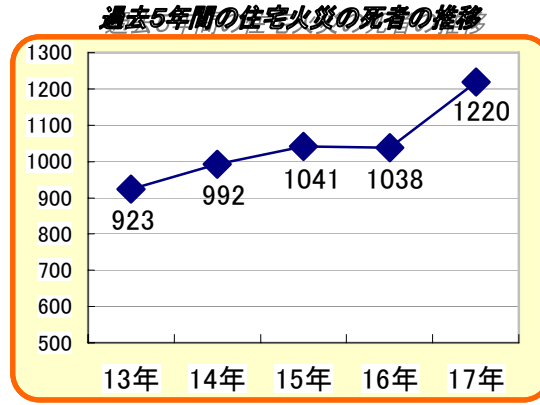
「住宅用火災警報器」「消火器」「防災品」

住宅用火災警報器
を
設置
しま
し
ま
う

現在一般の住宅にも住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。
◎これから新築する住宅は建築時に設置が必要です。
◎すでに建築済みの住宅も平成23年5月末までに設置して維持しておく必要があります。
設置の際の注意点は次のとおりです。
★設置に特別な資格は必要ありませんので自分で取り付けられます。
★取り付ける場所は寝室です。2階に寝室がある場合は階段にも必要になります。
★購入はホームセンターなどで手軽に購入できます。
**悪質な訪問販売等に
ご注意ください！**
高齢者やひとり暮らしの方を狙った訪問販売や電話勧誘等によるトラブルが発生しています。
消防署や役場などが火災警報器を販売したり、業者に販売を委託することはありません。
おかしいな・あやしいなと感じたら消防署又は警察署まで「相談下さい」。

◎消防署 電話 52-0119
◎さつま警察署 電話 53-0110

11月9日から15日まで
の一週間、「消さないであなたの心の注意の火。」20人（放火自殺者を除く）を合言葉に全国一斉に「秋の全国火災予防運動」を実施します。
これからだんだん寒くなると暖房器具の使用が始まります。また空気も乾燥し非常に火災が発生しやすい季節になってきます。以下の幼児の死者も前年のそこでこの運動を通じて、2.5倍に急増するなど大変憂町民の皆さん一人ひとりが防火安全対策の充実を図り、火災から大切な命や財産を守りましょう。
今回の火災予防運動では、住宅防火対策の推進を最重点目標として展開していきます。



住宅火災による死者は昨年一年間、全国で1,220人（放火自殺者を除く）に上っており、前年を1.8倍も上回る過去最悪の事態となっています。（左グラフ）
とりわけ高齢者の犠牲者が多く、全体の約57%に及んでいます。さらには5歳以下の幼児の死者も前年の2.5倍に急増するなど大変憂慮すべき状況です。
これらの方々の命を守るためには、その家族はもちろん、日ごろからご近所一丸となって「気配り・目配り」をして助け合っていくことが大切です。



住宅防火 命を守る 7つのポイント

3つの習慣・4つの対策



- 3つの習慣**
- 寝たばこは、絶対にやめる
 - ストーブは、燃えやすい物から離れた位置で使用する
 - ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す
- 4つの対策**
- 逃げ遅れを防ぐために、**住宅用火災警報器**を設置する
 - 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、**防災品**を使用する
 - 火災を小さいうちに消すために、**住宅用消火器等**を設置する
 - お年寄りや身体の不自由な人を守るために、**隣近所の協力体制**をつくる

**寝具カーテンなどは
防災品を使いましょう**
防災品には布団やエプロン、カーテン等、日頃から使っているものがたくさんあります。火災にならない環境を作る上でもこのような防災品を使用することをおすすめします。
特にお年寄りのご家庭では、できるだけ防災品を使用するようにしてください。

**住宅用消火器
を設置しましょう**
もしご家庭で火災になったとき、発見直後の数分間が被害の大小を決める大きな鍵になります。そのためにも消火器を設置して、普段から使い方を知っておくことが大切です。またエアソール式簡易消火器具も発生直後の小火災には有効といわれています。

県北部豪雨災害 救助活動の記録

7月18日から23日にかけての記録的な大雨で、甚大な被害が出た川内川流域。

急激な水位の上昇により浸水地域には多くの方が取り残されました。消防署をはじめ、町役場、消防団、警察署、自衛隊、住民が協力し、懸命な救助活動が行われました。



消防署では、21日から消防団員と連携して、川内川流域の警戒監視と住民に対して自主避難をするよう呼びかけて回りました。

22日も早朝から警戒監視を行いました。雨は時間を追うごとに激しさを増していき、川内川の水位も上昇、徐々に浸水地域が広がっていきましました。10時にはさつま町災害対策本部が設置され、消防団全団員に対して招集がかけられました。消防署では11時を過ぎるころになると救助を求める通報が鳴り続け、12時には被害が拡大する恐れのある虎居地区に現場指揮本部を設置し、救助活動の体制を整えました。

みるみるうちに水かさが増えていく浸水地域には、取り残された人々が住宅の屋根の上や二階の窓から救助が来るのを待っていました。しかし川内川から溢れ出した水は濁流となり、救助に向かう消防署員や消防団員、警察署員、また応援に駆けつけた自衛隊員の行く手を阻みました。流される救助ボート、胸まで浸かりながら取り残された人を背負って運ぶ消防団員、一刻を争う現場では懸命な救助活動が続けられ、2日間にわたり235名を無事救助しました。

豪雨災害における機関別救助人員

活動地域 機関別	虎居	宮之城 屋地	山崎	湯田
町役場	42	0	0	0
消防本部（署）	82	2	2	1
消防団	45	9	0	0
自衛隊	28	0	0	0
住民	24	0	0	0
地区別計	221	11	2	1
合計	235人			

また今回の救助活動には、住民の協力があったことも忘れておくことができません。自己所有のボートで、自分の命の危険を顧みず迅速な救助活動をされ、多くの尊い命を救ってくださいました。

災害はいつ起こるか分かりませんが、我々消防署としても災害に備えて、住民をより安全に救助できるように取り組んでいきたいと思えます。

最後に県北部豪雨災害により尊い命を亡くされた方のご冥福を心からお祈りするとともに、被災された方々の一日も早い復興を切に望みます。



AED貸し出します

イベントの最中にお客さんが突然倒れた！ここにAEDがあれば助かったかもしれないのに・・・
 こんなことにならないためにも、役場総務課と消防署設置のAED2台の貸し出しを行っています。
 条件は次の通りです。
 ◎ 町が主催・共催・後援する行事又は、町内の各種



団体を実施する行事で、町内で実施され、営利を目的としない。
 ◎ AEDの取り扱いを熟知した医師、看護師又は普通救命講習修了者等が二人以上参加している。
 詳しいお問い合わせはお申し込みは
 役場総務課（53-1111）
 消防署（52-0119）
 までお気軽にどうぞ。

救急救命士レベルUP!

薬剤追加研修と、病院実習を終えた田中俊朗救急救命士(45)が、このほど当本部一人目の「薬剤投与」のできる救命士に認定され運用を開始しました。使う薬剤は「アドレナリン」という強心剤のみ使用が許されています。
 また病院手術室での実習を修了した堀之内成昭救急救命士(33)が、当本部三人目の「気管挿管」ができる救命士に認定されました。これら2つの処置はいずれも「心肺停止の傷病者」にのみ実施できる救命処置



気管挿管（奥）と薬剤投与（手前）を訓練中の救急救命士

で、医師の具体的な指示もと実施します。また現場にいるご家族にもできるだけ説明し処置に対する同意を求めることとなりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

まきゅうまきゅうのページ

集団救急事故訓練実施

日本特殊陶業宮之城工場でガス爆発事故が発生。多数の従業員が負傷しているとの想定で集団救急事故訓練を実施しました。
 訓練では日特自衛消防隊の初動訓練から、消防隊によるガス濃度の測定、消防警戒区域の設置など多岐にわたり実施されました。
 また、負傷者の救護は、今年4月に薩摩郡医師会と締結された協定に基づき、派遣された医師・看護師と救急隊が連携し実施しました。さらに搬送する病院との連絡体制も同協定を運用し、本番さながらに実施されました。



訓練後に榎園宮之城警察署長は「実際の現場はこれよりもさらに複雑で混乱が予想される。落ち着いて行動し、訓練を重ねる必要がある。」と講評されました。

宮高生に救急講習

高校再編に伴い、本年度で廃校が決定している宮之城高校で救急講習が実施されました。
 講習は署員の指導のもと心肺蘇生法の実技が中心となりました。最初は恥ずかしさから、たどたどしい手技でしたが、終盤ではアドリブも飛び出すなど熱心に訓練していました。



職場体験学習 ただいま奮闘中!

7/4~7 入来商業高校



落ちないように ゆっくり…

毎年、中高生の皆さんが職場体験学習のため、消防署を訪れます。みんな厳しい訓練に耐え、たくましくなって帰っていきます。

9/25~29 薩摩中学校



煙の中から助けてきました



9/27~28 鶴田中学校



うわっ!水圧ってすごいなあ



将来、立派な消防士になってくれるといいなあ

消防ほっと写真館

特集 消防ポンプ操法大会



「放水始め!」これから全力で伝令に走っていきます。

【求名分団第2部】



「それ!」頼む!ホースよ、まっすぐに伸びてくれ!

【鶴田分団】



息を合わせて「1・2・3!」吸管を水槽に投入します。

【川原分団】



「準備はいいか!」これから操法が始まる緊張の瞬間!

【柏原分団】



「1番員異常なし!」操法が終わり点検結果を報告します。

【白男川分団】



「一発で的に当たってくれよ!」第2線放水の瞬間です。

【求名分団第1部】